

羽村市自然休暇村は
平成31年に30周年を迎えます。

おかげさまで
30年

羽村市自然休暇村 思い出写真 大募集!

応募者全員に
プレゼントあり

羽村市自然休暇村が開設したのは平成元年4月。
そのころにお泊り保育に参加した園児も、今は立派な社会人。
当時お泊り保育に参加した方が、お子さんを連れて宿泊することも増えました。
平成31年、休暇村では開設30周年を記念して、
「羽村市自然休暇村 思い出写真展」を行います。
清里周辺の観光スポットを巡った思い出。
自然休暇村で家族や仲間と過ごした思い出。
皆さんの思い出が詰まった懐かしい写真をお待ちしています!

- 応募方法 自然休暇村、清里で撮影した思い出写真（風景のみも可）※1人2枚以内・紙焼き（現像済み）写真の場合…四つ切りもしくはA4版以内の写真を額に入れ「写真のタイトル・応募者氏名（写真と一緒に表示します）・郵便番号・住所・連絡先」を記入し、写真と一緒に同封の上、郵送または直接羽村市自然休暇村へ
- 写真データの場合…5MB以内のJPG形式でEメールに添付し、羽村市自然休暇村へ送付先Eメール office_kiyosato@hamura-kyukason.jp
- ※発送費用は応募者の負担となります。返却は主催者の負担で返送します。
- 応募締切 平成31年1月4日(金)まで（必着）
- 応募者プレゼント 応募者の中から抽選で、次の賞品をプレゼントします。
A賞 羽村市自然休暇村夕食ペア半額券×3本
B賞 羽村市自然休暇村で使える商品券1,000円×3本
C賞 羽村市自然休暇村の夕食で使えるペアワンドリンク券(A・B賞の当選者を除く応募者全員)
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 写真展開催期間 平成31年1月11日(金)～平成32(2020)年1月11日(土)（予定）
応募した懐かしい写真を見にお越しください!

問合せ 自然休暇村 ☎ 0120-47-4017 / 携帯からは ☎ 0551-48-4017

大人の風しん抗体検査・予防接種 対象者を拡大

風しんに対する免疫のない女性が妊娠中に感染すると、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる場合があります。抗体検査の費用の全額・予防接種の費用の一部助成の対象者を拡大し、男性も対象となりました。

対象 市内在住の19歳以上の方で、次の①～③のいずれかに該当する方
 ① ②③の方が新たに対象となりました
 ② 妊娠を予定または希望している女性
 ③ 妊娠している方と同居している方

羽村市特別支援学級発表会

市内の小・中学校の特別支援学級の児童・生徒による、作品展および舞台発表を行います。

作品展

羽村西小学校くすのき学級、栄小学校くぬぎ学級、武蔵野小学校むさしの学級、松林小学校まつのこ学級、羽村第一中学校8組、羽村第三中学校E組の児童・生徒が、心を込めて作った作品を展示します。

日時 11月30日(金)～12月2日(日)の午前9時15分～午後3時45分
会場 ゆとりぎ1階展示室
問合せ 栄小学校 ☎ 55412024

③①の方と同居をしている方
 ※抗体検査の結果、抗体価が十分でなかった場合に、予防接種を受けることができます。
 ※事前に保健センターで申込みが必要です。申込方法、接種医療機関などについて詳しくは、市公式サイトをご覧ください。

問合せ 保健センター ☎ 623

舞台発表

羽村西小学校くすのき学級、栄小学校くぬぎ学級、武蔵野小学校むさしの学級、羽村第一中学校8組、羽村第三中学校E組が、歌や劇などを発表します。

日時 12月1日(土)午前9時25分～午後0時30分(開場午前9時)
会場 ゆとりぎ大ホール
問合せ 武蔵野小学校 ☎ 55516904



オリ・パラ通信 20 卓球 Table Tennis



東京2020パラリンピックの全22競技紹介の第17弾として卓球を紹介します。パラリンピックの卓球は、第1回のローマ1960大会から行われ、ソウル1988大会から正式競技となったオリリンピックより先に始まっています。

競技ルール

肢体不自由と知的障害のある選手が行う競技です。試合は男女別で、1対1で戦う個人戦と、2対4人でチームを組んで戦う団体戦があり、障害の種類や程度で分けられたクラスごとに競技を行います。基本的なルールはオリリンピックの卓球とほぼ同じですが、障害のクラスによっては、特別なルールが設定されています。

特別ルール

車いすを使用する選手のサーブは、相手コートでバウンドしたボールがサイドラインを横切ると無効となり、やり直しとなります。また、立位の選手の中には杖を使用している場合があります。



▲独自のスタイル (画像提供東京都)

見どころ
選手のプレースタイルは、障害によりさまざまです。障害の重いクラスでは、下肢だけでなくラケットを持つ手にも障害がある選手がいます。ラケットを口にくわえ、サービストスを足で上げるプレーは、見る人の固定概念を覆し、想像を超える力を知ることができます。

その一方で、障害の軽いクラスでは、ラケットを持たないほうの腕のみ障害がある選手などが出場し、激しく打ち合うハイスピードな試合が展開されます。時速100km以上の速さで飛んでくるボールを見事な反射神経で打ち返すスピード感や、相手選手のプレースタイルを見極め、緩急織り交ぜた戦略を駆使した頭脳戦も見どころです。

■競技会場は東京体育館です。
問合せ 東京オリリンピック・パラリンピック準備室 ☎ 345